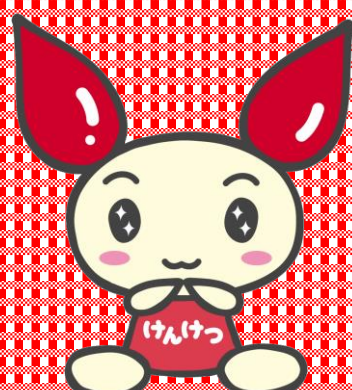


献血

バスが来ます！



4月7日(月)

時間：10:00～11:45／13:00～16:00

場所：那須塩原市役所 本庁舎

(受付：1階市民室)



血液需要に十分応えるため、**60名以上**のご協力が必要です！

※200mL献血は、医療機関からの要請数に達し次第終了となります。

「One more400mL 献血キャンペーン2025」

実施中！

複数回献血にご協力ください！

8か月以内に2回 400mL献血にご協力頂くと、
非売品トミカが毎月70名様に当たる抽選に
応募できます！詳細は献血会場で…

薬を服用されている方へ

お薬の名前が分かるようにして下
さいますようお願い致します。

(または、お薬手帳をご用意下さい。)



お問合せ先：栃木県赤十字血液センター献血推進課(028-659-0114)

全血献血基準

献血基準^{※1}

献血の種類		全血献血		成分献血	
項目		200mL献血	400mL献血	血漿成分献血	血小板成分献血
1回献血量		200mL	400mL	600mL以下(循環血液量の12%以内)	
年 齢		16歳～69歳※2	男性17歳～69歳※2 女性18歳～69歳	18歳～69歳※2	男性18歳～69歳※2 女性18歳～54歳
体 重		男性45kg以上 女性40kg以上	男女とも50kg以上	男性45kg以上 女性40kg以上	
最高血圧	90mmHg以上 180mmHg未満				
最低血圧	50mmHg以上 110mmHg未満				
脈 拍	40回／分以上 100回／分以下				
体 温	37.5℃未満				
血色素量 (ヘモグロビン濃度)	男性 12.5g/dL以上 女性 12.0g/dL以上	男性 13.0g/dL以上 女性 12.5g/dL以上	12.0g/dL以上 (赤血球指数が標準域にある 女性は11.5g/dL以上)	12.0g/dL以上	
血小板数	――	――	――	15万/μL以上 60万/μL以下	
年間献血回数※3 ※4	男性6回以内 女性4回以内	男性3回以内 女性2回以内	血小板成分献血1回を2回分に換算して 血漿成分献血と合計で24回以内		
年間総献血量※3 ※4	200mL献血と400mL献血を合わせて 男性1,200mL以内、女性800mL以内		――	――	
共通事項	次の者からは採血しない				
	①妊娠していると認められる者、又は過去6カ月以内に妊娠していたと認められる者				
	②採血により悪化するおそれのある循環器系疾患、血液疾患、その他の疾患にかかっていると認められる者				
	③有熱者その他健康状態が不良であると認められる者				

※1 採血基準は、献血にご協力いただける方の健康を保護するために、国が定めたもので、採血の実施は、医師が問診結果等を踏まえて総合的に判断します。

※2 65歳から69歳までの方は、60歳から64歳までに献血の経験がある方に限られます。

※3 期間の計算は採血を行った日から起算します。

※4 1年は52週として換算します。

献血の間隔^{※5}

今回の献血 前回の献血	全血献血		成分献血	
	200mL献血	400mL献血	血漿成分献血	血小板成分献血
200mL献血	男女とも4週間後の同じ曜日から			
400mL献血	男性は12週間後、 女性は16週間後の同じ曜日から		男女とも8週間後の同じ曜日から	
血漿成分献血	男女とも2週間後の同じ曜日から※6			
血小板成分献血				

※5 期間の計算は献血を行った日から起算します。

※6 血漿を含まない場合には、1週間後に血小板成分献血が可能になります。ただし、4週間に4回実施した場合には次回までに4週間以上あけてください。

献血！ できる薬・できない薬

お薬には、種類や服用期間によって献血できない場合があります。

(※ジェネリック医薬品も含みます)

献血の際には必ず「お薬の名前」がわかるようにして来てください。

下記には主なお薬を示しています。

詳しくは献血検診医師または受付職員におたずねください。

1. 当日服用していても献血できるお薬

(ただし献血者の健康状態を考慮し、献血できない場合もある)

- ・ 市販のビタミン剤・栄養ドリンク剤（リポビタミンD等）
- ・ ミネラル剤（鉄剤による貧血治療中を除く）
- ・ 漢方薬（服用目的によりできない場合がある）
- ・ 抗アレルギー薬

(エンペラシン・セlestamin等ステロイドが含まれてるものは献血できない場合がある)

市販の花粉症・アレルギー性鼻炎薬

アレグラ、アレジオン、アレロック、オロパタジン塩酸塩、クラリチン、ザイザル、タリオン、ディレグラ、ピラノア、フェキソフェナジン塩酸塩、برانلカスト、ロラタジン・・・等

- ・ 脂質異常症（高脂血症）治療薬

リピトール、メバロチン、クレストール、エパデール、イコサペント酸エチル・・・等

- ・ 低用量ピル

- ・ 降圧剤（複数剤の降圧剤を服用している場合でも採血可能）

アムロジピン、アダラート、オルメテック、プロプレス・・・等

- ・ 下剤・市販緩下剤

- ・ 整腸剤

- ・ 痛風・高尿酸血症治療薬（痛風治療中は不可）

2. 前日までの服用であれば献血できるお薬

- ・ 解熱鎮痛消炎剤（血小板採血以外で、症状がない場合や予防的服用に限る）

市販解熱鎮痛薬、アスピリン、イブプロフェン、バファリン、ロキソニン、PL顆粒・・・等

- ・ 市販風邪薬（血小板採血以外で、症状がない場合や予防的服用に限る）

3. 服用中止から3日間は献血できないお薬

- ・ 抗生物質、および抗菌剤
- ・ 抗ウイルス薬
- ・ 止痢薬（下痢止め薬）

4. 原疾患で献血できないお薬

- ・ 抗けいれん薬
- ・ 抗不整脈薬
- ・ 抗甲状腺薬
- ・ 強心薬
- ・ 糖尿病薬（※食事療法のみ治療は医師の判断により献血可能）
- ・ 痛風治療薬（治療中は不可）

5. その他

- ・ チガソン（乾癬治療薬）（献血不可）
- ・ ラエンネック、メルスモン（ヒト由来プラセンタ）（献血不可）
- ・ プロペシア、プロスカー等（1ヶ月献血不可）
- ・ アボダート、アボルブ（6ヶ月献血不可）



● 献血するメリットは？ ●

自分の血液型が事前の血液検査でわかる！

献血にご協力いただく際に、事前に少量の採血を行い、貧血の心配がないか調べます。
その際に血液型も検査いたしますので、自分の血液型を知ることができます！

ABO血液型について

血液型と遺伝

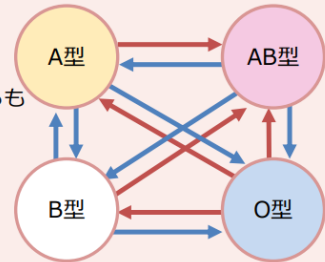
メンデルの法則
メンデルは、研究を通して遺伝の基礎となる法則を発見
両親の子と血液型

父 母	A型	B型	AB型	O型
A型	Aまたは O型	すべて	O型以外	Aまたは O型
B型	すべて	Bまたは O型	O型以外	Bまたは O型
AB型	O型以外	O型以外	O型以外	Aまたは B型
O型	Aまたは O型	Bまたは O型	Aまたは B型	O型のみ

輸血できる血液型

- 輸血のときに最も大切なのはABOとRhの2つの血液型
- 輸血の場合、お互いのABO血液型は同じ型を選ぶ。

同じ型の血液どうしは
輸血できる
AB型は、A型B型O型からも
輸血できる
A型、B型はO型からも
輸血できる
O型はO型からしか
輸血できない



血液型のトリビア：動物の血液型

※同じ血液型だから人間に輸血できるということではございません。

オランウータンは人間と同じA、B、O、AB



チンパンジーはA、Oのみ

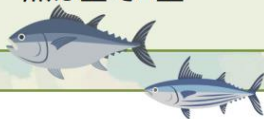


ネコはA、B、AB



イヌの血液型はDEA型というもので8種類

魚は全てA型



ウマの血液型は3兆種類以上

ゴリラは全てB型



フェレットには血液型がない

あなたの**力**が**誰かの力**となります。

あなたの**少しの勇気**で救われる**命**があります。

献血にご協力をお願いいたします。

そして、献血の輪を広めてください。